



# 光明の学び

## 「ひまわりのせいくらべ」結果発表 上位入賞!

全国の小学校や小学部等が多数応募する「2019 ひまわりのせいくらべ」の結果発表が先日、学校に届きました。光明学園は**3m30cmで堂々の63位に入賞。なんと応募は1349校です。**届いた賞状には「みあげるようになったで賞」と記載されていました。全エントリー中の上位150位までが入賞となるそうです。

ちなみに第1位：4m60cm/豊田市立佐切小学校。何という高さでしょう!2階窓の高さ位かも?特別支援学校のライバルは、第12位：3m82cm/香川県立香川西養護学校、第35位：3m56cm/都立鹿本学園(本校と光と虹の友情校を締結)です。

**本校の3m30cm**は、教室の天井を越す高さ。S小のHグループの児童8名と応援団の教職員5名の手塩にかけた日々の栽培努力の賜物です。

☆来年も挑戦する学級・グループを募集します!

## 医療的ケアの対応充実について報道がありました!

9/9の東京都議会では、人工呼吸器を用いる児童・生徒の教育充実が焦点の一つとなり、その事が後日の新聞等で大きく報道されました。その際の都教育委員会の説明は次の通りだったとのことです。

「都立特別支援学校で人工呼吸器を使用する児童生徒の保護者の校内付添い解消に向け、安全確保を第一に、人工呼吸器を適切に管理できる校内体制・実施方法検討を目的にモデル事業に取り組んでいます。具体的には個々の状況に応じて授業中等日常の人工呼吸器管理他、校内連絡体制・緊急時対応等の課題に対する詳細な検討を行っている最中です。令和2年度以降は、対象児童生徒の自尊心・自立心育成の為に、**モデル事業の成果を踏まえ、校内管理体制の整った学校から付添い日数を徐々に減らす等、保護者負担の段階的軽減をしていきます。**」(要約) この説明にあるモデル事業とは、本校が昨年度から指定校となって取り組んでいる「人工呼吸器管理モデル事業」の事です。

現在も校内管理体制を整備する上で不可欠となる、呼吸器管理に関するガイドラインづくりに向け、校内で様々な取組(以下参照)を行い、その実践を教育委員会に適宜報告するなど、積極的に参画しています。

- 安全を基盤とした運営システム構築
- 万一に備えた緊急対応策及び教職員の研修充実策
- 段階的な保護者の付添い縮減・解消策

次年度以降、より多くの学校で校内体制整備が進み、本校同様に呼吸器管理の事業に順次取り掛かれるように、指定校として力を尽くしていきます。

## 豪雨で水没被害のあったまきび支援学校が復興!

昨年の本紙9月号で報じた「西日本豪雨による被害で一時水没した岡山県立倉敷まきび支援学校」本校舎が遂に復興し、9/2から他3校に分散避難して授業を受けていた全員が本校舎に戻ることが叶ったとのことです。

昨夏の本校が「がやがや夏まつり」で率先して開始した義援金呼掛けによる支援は、全国各校PTAや全国大会にも広がり、大きな支援となりました。

御連絡を差し上げたところ、復興後の見学機会を頂戴しましたので、9/21、校長と副校長で訪問いたしました。その際に、校長先生から決壊時の判断・安全確保・連絡手段などについて示唆に富む御体験を伺うことができました。本校の防災対策に生かしていきます。



上：被災直後の状況 下：復興後の校舎



校長 田村康二郎

## 【報告】2学期始業式の様子

9月2日。いよいよ西棟での学校生活が始まりました。2学期の始業式を、新校舎である西棟の「体育室」で行いました。体育室には中庭からの採光が差し込み、期待感にあふれるスタートとなり、わくわくした表情の子どもたちでした。

今までの体育館での始業式は部門、学部を越えて全員で集まっていましたが、今回はS部門小学部、S部門・B部門中学部、S部門・B部門高等部の3回に分けて行われました。校長先生のお話も、各学部児童・生徒の実態に合わせた言葉で進められ、学部の特色のある式になりました。

PTAからは、新校舎落成の記念品として、かわいいクッション「レモンちゃん」と、光明キャラ



クター「こうちゃん」「めいちゃん」のイラストの入ったクリアファイルを贈呈されました。児童・生徒は、「新しい校舎・教室で頑張るぞ」という気持ちと満面の笑顔で記念品を手にしていました。

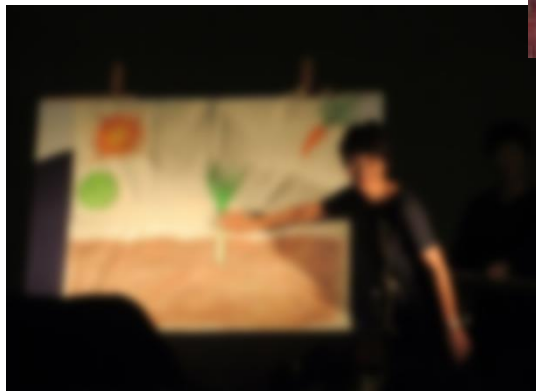
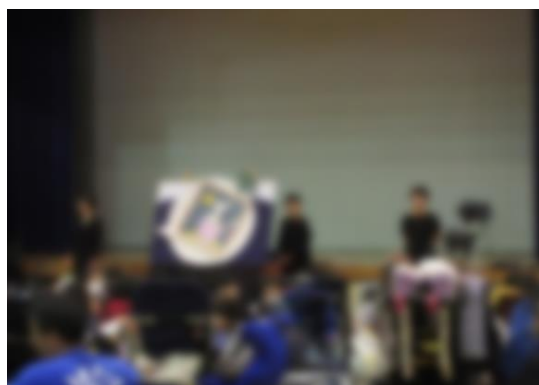
(S小学部主幹教諭 小澤奈緒美)

## 【報告】新校舎落成記念特別プログラム S小学部 読み聞かせの会

2学期が始まってすぐの9月4日(水)、新校舎落成を記念して、「大人と子供のための読み聞かせの会」のみなさんが来校してくださいました。

5年生の元気の良い挨拶から始まり、ペープサート上にいくつもの野菜が掲示され、「これは何だろう」との問いかけに、好奇心旺盛の子どもたちは興味津々でした。

そして、子どもたちが雰囲気慣れてきたところで、「おおきなかぶ」のお話がスタートしました。



中井貴恵さんの素敵な声と、軽快な音楽に合わせて、パネルには主人公のおじいさんが登場。絵が本当に動いているようでした。

いつもの学習でのストーリーとは少し異なりましたが、プロの読み聞かせに子どもたちたちはとても満足した表情で、楽しいひと時を過ごすことができました。(S小学部教諭 小林和貴)

9月25日（水）に株式会社TBSテレビの秋沢淳子さんが来校されました。この会は、①読み聞かせを通して、情緒や想像力を育み、お話を聞く態度を養う②海外の話聞き、多様性を認め合うことを目的に行いました。第一部は、各学部の児童・生徒が選んだ本を読み聞かせしてくださいました。「トッピンチャン」等のオノマトペを巧みに操り、誰もが集中して聴いていました。

第二部は、海外情勢の話を通して、「違いを理解し尊重出来る人になろう！そうすることで世界は平和になっていく」「世界は色々な国や文化があるので勉強すると楽しい」「違いを色に例えると地球はとてもカラフル」等のメッセージを秋沢さんからいただきました。



秋沢さんの語りで学びの広がりを感じることができました。

「海外に行ってみたい」「世の中の出来事に関心をもちたい」等新たな視点に気付かされた生徒の感想や意見がありました。

(S主任教諭 達 直美)

**お願い：バスに乗車しない場合の連絡について（再掲）**

すでに御協力していただいておりますが、**バスに乗車しない場合は、営業所へ連絡**をお願いします。乗車の有無の情報がないと確認までに大変時間を要し、定時運行や安全運行に大きな影響があります。

尚、急なお迎え等で乗車しない場合も、来校時にバス昇降口にある**ホワイトボードに乗車しない旨を御記入**ください。

これらの情報を受け、バス昇降口のホワイトボードで1便、2便の有無等を保護者、スクールバス乗務員、教職員の三者が共通理解を図ります。

主旨を御理解いただき、より情報が正確になりますよう、**確実な連絡及び記入**をお願いします。

スクールバス昇降口から向かって、右手にホワイトボードがあります。



乗車しない場合はこちらに御記入をお願いします。

**お願い：西棟バスターミナルの停車ルールについて**

9月24日から西棟のバスターミナルに、送迎が必要な車両の停車利用が可能になりました。

〈利用可能時間〉

バスが出入りしない時間帯が利用可能です。

午前9時15分から午後1時まで

午後1時を過ぎて停車している車両があると、営業所等から戻ってくるスクールバスの駐車に影響があり、全校放送を入れ車両の移動をお願いすることになります。授業中の放送を避けるためにも、利用時間を厳守してください。

〈利用できない日のお知らせ方法について〉

- ① 月予定表（「光明の学び」に掲載の予定表）  
“西棟バスターミナル停車利用”欄を新設しました。×が付いている日は利用できません。
- ② スクールバス昇降口の下駄箱に掲示  
1で配布したものと同様のものを掲示しますので、送迎時に御活用ください。